

平成 15 年 8 月 26 日 ブリーフィング説明内容

以下は、平成 15 年 8 月 26 日におこなったブリーフィングにおける弊社会長 細谷 英二による説明内容です。

【りそな競争力向上委員会の設置】

それでは、この 1 ヶ月の動きを中心にお話したいと思います。まず最初に、りそな競争力向上委員会を正式にスタートさせたいと考えております。この委員会は、私が予てから銀行は縦割り組織で動いているので、横断的な串刺的な機能を強化しなければならないということで、顧客サービスとコストダウンという二つの銀行にとって大きなテーマについて委員会を発足させたいということです。この委員会は外部からのアドバイザーの受け皿的な機能も果たさせたいということで、花王さんのOBのチーム等の提案をこの委員会で受けて、それを実行に移していく。あるいは、今、若手の社員の皆さんに、りそな再生のプロジェクトチームを進めていただいておりますが、9 月末に報告を受ける具体策についての実行の受け皿が必要だということで、その機能もこの委員会で機能させたいと考えております。既に、一回目の関係者の勉強会を開いておりますが、正式には 9 月 1 日にスタートさせたいということでありませう。

【キッチンキャビネットの設置】

これと同時に、私が 8 月上旬の記者懇談会等で発表させていただきましたキッチンキャビネットといいますか、銀行全体を動かすためには、私に直接アドバイスできる人材を確保したい、あるいは、私の指示が実際に現場まで徹底しているか検証したいということで、主力の部長を 10 名程度予定しておりますが、現在、8 名で 9 月 1 日からタスクフォースをスタートさせたいと思っております。営業、融資、子会社管理あるいは財務等、それぞれの第一線の部長クラスを 8 名程度集めてスタートさせたいと思っており、この二つの委員会、タスクフォースは、まさにりそな再生に向かって組織全体が足並みをそろえて動き出すための、エンジンの機能ということを期待しております。

【ベンチャーキャピタル子会社の社長等の社内公募】

それ以外の最近の動きといたしまして、りそなキャピタルというベンチャーファンドの子会社があり、ベンチャーファンドは、りそなグループの中でこれから重要な機能を果たしていくということを考えております。特に直接金融と間接金融が有機的に機能するということはりそな全体の競争力向上にもプラスになるということで、重点的な会社として考えています。ベンチャーファンドという将来を考える会社でありますので、若手の経営幹部を公募したいと考えております。社長、取締役、執行役員 2 名、それから若いスタッフも集めたいと思っております。原則、20~30 代の社員の皆さんに応募してもらいたい。ただ、社長につきましては若干の経験も必要なこと等もあり、40 代まで年齢を広げて公募をしたい。9 月中に人選を行い、10 月 1 日に新しい経営陣の体制にしたいと考えております。

【関係会社の再編】

それから、関係会社、子会社等の再編を進めているわけではありますが、ファクタリング業務の大和ファクター・リースとあさひ銀ファイナンスサービスの2社につきましては12月に統合したいと考えております。それから、グループ内で人事関連、いわゆる人材派遣等の会社が4社もございます。これも12月1日には合併・統合をしたいと考えております。その他の子会社、関連会社については、今、次々と再編等を進めておりますので、15年3月期には46社ございましたけれども、16年3月期には1/4程度に集約したいということを考えております。

【その他】

それから、皆さま方からご質問が出るかも知れませんが、お答えできないテーマがいくつかありまして、産業再生機構につきましては、個別企業のコメントはできませんので、新聞等ではりそなど密接な会社の名前が挙がっておりますが、本日時点ではコメントは差し控えさせていただきます。

また、東京都の外形標準課税の問題につきましても、全銀協で対応されており、個別行ではコメントできませんのでご容赦いただきたいと思います。

また、リース業をはじめ関係会社の再編等に伴いまして、それぞれの分野でフィナンシャルアドバイザーを立てて交渉に入っている分野がございます。これにつきましても一部報道がございますが、アドバイザーと守秘義務契約を結んでございますので、残念ながら具体的な進捗状況等についてはコメントを差し控えさせていただきます。

それから、デューデリジェンスの進捗状況ではありますが、本日時点では申し上げることは何もございませんが、若干全体的に作業は遅れ気味であります。やはり、トーマツさんが個別の融資先について、具体的にヒアリングをしたいというお取引先が予定よりも増えておりまして、全体の進捗が3~5日程度遅れ気味になっております。

【本部組織の見直し】

それから、予てから10月1日に組織改正、人事の再編成をしたいという意向をコメントしておりましたが、組織改正については検討の最終段階に来ております。私は就任時に直感的に銀行の企画・管理部門は肥大化していると考え、直感的に組織半分、人員半分ということ社内を号令をかけておりました。現実的には再生勘定対応の組織とか、これから営業体制も強化していかなければならないということもありますので、1/2ということは難しいかと思っておりますが、少なくとも組織・人員とも2/3を切ると、6割程度を目標に組織改正あるいは人員の再配置を進めていきたいということで、来月の取締役会では、組織改正の案件を諮らせていただいて発表させていただきたいと考えております。いずれにせよ、小さな本社といいますが、スリム化した本社こそがやはり企業活力を生み出す一つの要素だと考えておりますので、思い切った組織改革を行っていきたいと考えております。本日の私のブリーフィングは以上であります。

以上